



妹 山

令和 3年 2月 1日発行

吉野町立吉野中学校

文責 校長 紙岡秀樹

本校教育目標

学 び 合 い 、 鍛 え 合 い 、
と も に 生 き る



1月も終わり進路も寒さも本番の時期がやって来ました。よく1月は行(1)く、2月は逃(2)げる、3月は去(3)ると昔からよく言われています。いよいよ年度末を迎えるにあたって、家庭と学校が一体となって、残り2ヶ月を乗り切り、来年度を迎えることを考えています。ご協力のほどよろしくお願いいたします。今年の節分は2月2日ですよね。地球の公転と暦の関係で124年ぶりに2月2日となるようですが、このことに気がつか

ないまま節分の日が近づいてきていました。例年ならもっと話題になることなのかもしれません。毎日の仕事に追われるだけでなく、コロナ一色の社会がそうさせているのかもしれません。毎日の生活のちょっとしたことに気がつくことができていない今日このごろです。

1、コロナウイルス感染症の拡大防止のために

コロナウイルス感染症の拡大のため、大阪府、兵庫県、京都府には緊急事態宣言が出されています。中学校としましては、この進路の大切な時期を学校全体として、子どもたちにどのように過ごさせていくかを考えました。その結果、今までのようにマスクの着用、換気、距離、手洗い、消毒、毎日の検温等の**感染予防を徹底**させることを最重点としていくことにしました。また、県の教育委員会から入試に関わっての文書がきめ細かく送付されてきています。本校の生徒の誰かがコロナウイルスに感染すれば、中学校



がその生徒のための受験会場となり、当日学校は臨時休業となります。併せて、健康チェックが県教育委員会から送付されてきました。この健康チェックには新しい項目として、行動記録が入りました。本校で話し合った結果、下級生にも同じ健康チェックをしてもらうことにしました。行動記録をつけることにより、本校から感染者を出さないという意識付けとなります。3年生が全員無事受験できるということにつながり、また本校から感染者を出さないということにつながる考え方からで

す。どうか趣旨を理解していただいてご協力よろしく申し上げます。また、37.5度以上の熱や倦怠感、のどの痛み等が続く場合は、病院で診察をよろしく申し上げます。その時は今までと同様に必ず学校まで連絡をしてください。そして学校の指示に従ってください。家庭と学校と連絡を密にしていきたいと思います。

2、小中一貫教育校開校に向けての進捗状況

令和4年4月に開校される小中一貫教育校について、現在の進捗状況をお伝えします。

校名 吉野町立小中一貫教育校吉野さくら学園

小学校名 吉野町立吉野小学校

中学校名 吉野町立吉野中学校

校歌 一貫校で一つ制定されました。現在の中学校の校歌がそのまま一貫校の校歌となります。理由は、吉野町出身の方々の多くがこの校歌を中学校時代に歌ってきました。多くの方々が知っていて親しみのあるものであるというのが大きな理由です。ちなみに現在の中学校の校歌は、『吉野中学校』という歌詞がありません。全国でも非常に珍しい校歌と言われています。

上記のように、校名と校歌が決定されています。次に現在検討に入っているものとしては、通学路とPTA組織についてです。また、制服の検討にも年度明けから入る予定です。正式に決定しましたら順次報告させていただきます。

工事の進捗状況は、新校舎の基礎部分ができあがってきています。来年の11月には立派な校舎ができあがる予定です。



3、来年度の年間行事計画について

コロナウイルス感染症の拡大が先行き不透明のため、来年度の行事の時期を検討しています。子どもたちにできるだけ多くの体験や経験をしてもらい、成就感や自尊感情等を向上させたいという理由からです。正式にはまだ発表はできませんが決定次第連絡させていただきます。ご理解とご協力の程よろしく申し上げます。